

## 主日礼拝

2023年4月16日  
午前10時30分

## 前奏

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「23 これは主の御業  
わたしたちの目には驚くべきこと。  
24 今日こそ主の御業の日。  
今日を喜び祝い、喜び躍ろう。」  
(詩編 118:23,24)

## 頌栄 24 「たたえよ 主の民」

## リタニー 「イースター」

司式者：ハレルヤ！  
主はよみがえられました。

会衆：ハレルヤ！  
ほんとうに主はよみがえられました。

司式者：神さまは、わたしたちを悲しみの中に  
放っておかれません。

会衆：もう泣かなくてもいいよ、と言って  
くださいます。

司式者：神さまは、わたしたちを絶望の中に  
捨てておかれません。

会衆：希望を持ちなさい、と言ってくださ  
います。

司式者：神さまは、  
イエスさまをお墓の中に閉じ込めて、  
それでおしまいにされません。

会衆：新しいのちに、よみがえらせ、  
おしまいでないことを示されます。

司式者：ハレルヤ！  
イエスさまは生きておられます。

会衆：ハレルヤ！  
神さまは今も働いておられます。

## 祈祷

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあげさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン  
しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを

\* 「キリエ・エレイソン」は、「しゅよ、あわれんでください」という意味。

## 聖書 ルカによる福音書 24:13～35

新約(新共同訳) p160～p161

13 ちょうどこの日、二人の弟子が、エルサレムから六十スタディオン離れたエマオという村へ向かって歩きながら、14 この一切の出来事について話し合っていた。15 話し合い論じ合っていると、イエス御自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。16 しかし、二人の目は遮られていて、イエスだとは分からなかった。17 イエスは、「歩きながら、やり取りしているその話は何のことですか」と言われた。二人は暗い顔をして立ち止まった。18 その一人のクレオパという人が答えた。「エルサレムに滞在しているながら、この数日そこで起こったことを、あなただけのご存じなかったのですか。」19 イエスが、「どんなことですか」と言われると、二人は言った。「ナザレのイエスのことです。この方は、神と民全体の前で、行いにも言葉にも力のある預言者でした。20 それなのに、わたしたちの祭司長たちや議員たちは、死刑にするため引き渡して、十字架につけてしまったのです。21 わたしたちは、あの方こそイスラエルを解放してくださると望みをかけていました。しかも、そのことがあってから、もう今日で三日目になります。22 ところが、仲間の婦人たち

がわたしたちを驚かせました。婦人たちは朝早く墓へ行きましたが、23 遺体を見つけずに戻って来ました。そして、天使たちが現れ、『イエスは生きておられる』と告げたと言うのです。24 仲間の者が何人が墓へ行って見たのですが、婦人たちが言ったとおりで、あの方は見当たりませんでした。」25 そこで、イエスは言われた。「ああ、物分かりが悪く、心が鈍く預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち、26 メシアはこういう苦しみを受けて、栄光に入るはずだったのではないか。」27 そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。

28 一行は目指す村に近づいたが、イエスはなおも先へ行こうとされる様子だった。29 二人が、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕方になりますし、もう日も傾いていますから」と言って、無理に引き止めたので、イエスは共に泊まるため家に入られた。30 一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。31 すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。32 二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。33 そして、時を移さず出発して、エルサレムに戻ってみると、十一人とその仲間が集まって、34 本当に主は復活して、シモンに現れたと言っていた。35 二人も、道で起こったことや、パンを裂いて下さったときにイエスだと分かった次第を話した。

### 賛美 57 「ガリラヤの風かおる丘で」



1. ガリ ラ ヤの か ぜ かおる おか で  
2. あら し の ひ な たける うみ で  
3. ゴル ゴ タの じゅう じかの うえ で  
4. ゆう ぐ れの エ マ オへの みち で

ひと びとに はな された めぐみの みこと ばを  
でし たちを さとされた ちからの みこと ばを  
つみ びとを まね かれた すい のちの みこと ばを  
でし た ちに つげ られた い のちの みこと ばを

わ た しにも き か せ て く だ さ い  
わ た しにも き か せ て く だ さ い  
わ た しにも き か せ て く だ さ い  
わ た しにも き か せ て く だ さ い

- |   |   |
|---|---|
| 1 ガリラヤの風かおる丘で<br>ひとびとに話された<br>恵みのみことばを、<br>わたしにも聞かせてください。   | 3 ゴルゴタの十字架の上で<br>つみびとを招かれた<br>すくいのみことばを、<br>わたしにも聞かせてください。  |
| 2 あらしの日波たける湖で<br>弟子たちにさとされた<br>ちからのみことばを、<br>わたしにも聞かせてください。 | 4 タぐれのエマオへの道で<br>弟子たちに告げられた<br>いのちのみことばを、<br>わたしにも聞かせてください。 |

### 説教 「関係を切り結ぶ復活」

### 賛美 326 「地よ、声たかく」

Ἀνεστάντος ἡμῶν  
詞：Joannes Damascenus, 675?-749? LANCASHIRE (SMART)  
曲：Henry T. Smart, 1813-1879



地 よ、こ え た か く つ げ し ら せ よ、  
と う と き イ エ ス の よ み が え り を。  
死 より い の ち へ と み ち び き た も う  
主 イエスととも に わ れ ら す す まん。

- |   |   |
|---|---|
| 1 地よ、声たかく 告げ知らせよ、<br>とうときイエスの よみがえりを。<br>死より命へと みちびきたもう             | 3 天よ、喜べ、地よ、たたえよ、<br>造られしもの 声あわせよ。<br>主のよみがえりの この日を祝い、<br>尽きぬ喜び われらたたえん。 |
| 2 罪に打ち勝ち 死をやぶりて<br>われらの心 解放す主。<br>その勝ち歌こそ 全地に満ちて、<br>救われしもの とともに歌う。 |   |

### 派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

### 祝祷

### アーメン



アーメン アーメン アーメン

### 後奏

司式 佐々木 悠  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 福原 之織